

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2003-223400 (P2003-223400A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)
 【出願番号】特願 2002-24544 (P2002-24544)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 1 0 C

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報を表示する表示部と、

特定電子メールのアドレスとの一致を判定するための特定電子メールアドレスを格納するアドレス格納部と、

特定電子メールを表示させるために予め使用者の認証情報を格納する認証情報格納部と

、

電子メールを受信する通信部と、

受信した電子メールを、前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールと、前記特定電子メールアドレスと一致しない電子メールとに分けて格納する電子メール格納部と、

電子メールを受信した際に、前記特定電子メールと前記電子メールに分類して前記電子メール格納部に分けて格納し、該電子メール格納部に格納されている特定電子メールを表示する際に、前記認証情報格納部に格納されている認証情報と使用者から入力された認証情報が一致すると前記特定電子メールを前記表示部に表示させる制御部とを有することを特徴とする携帯端末。

【請求項 2】

情報を表示する表示部と、

特定電子メールのアドレスとの一致を判定するための特定電子メールアドレスを格納するアドレス格納部と、

特定電子メールを表示させるために予め使用者の認証情報を格納する認証情報格納部と

、

電子メールを受信する通信部と、

受信した電子メールのアドレスが前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールを格納する特定電子メール格納部と、

受信した電子メールのアドレスが前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールア

ドレスと一致しない電子メールを格納する電子メール格納部とを備え、

電子メールを受信した際に、前記特定電子メールと前記電子メールに分類してそれぞれ前記特定電子メール格納部と前記電子メール格納部に格納し、該特定電子メール格納部に格納されている特定電子メールを表示する際に、前記認証情報格納部に格納されている認証情報と使用者から入力された認証情報が一致すると前記特定電子メールを前記表示部に表示させるようにしたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 3】

特定電子メールのアドレスとの一致を判定するための特定電子メールアドレスを格納するアドレス格納部に格納するステップと、

特定電子メールを表示させるために予め使用者の認証情報を格納する認証情報格納部に格納するステップと、

電子メールを受信するステップと、

電子メールを受信した際に、前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールと、前記特定メールアドレスと一致しない電子メールを分けて電子メール格納部に格納するステップと、

前記格納されている特定電子メールを表示する指示の入力を受け付けるステップと、

使用者からの認証情報の入力を受け付けるステップと、

該入力された認証情報が前記認証情報格納部に格納されている認証情報と一致した場合に特定電子メールを表示部に表示するステップと、
を有することを特徴とする携帯端末の電子メール分類方法。

【請求項 4】

情報を表示する表示部と、

電子メールを受信する通信部と、

使用者の認証情報を格納している認証情報格納部と、

メールアドレスを格納するアドレス格納部であって、該アドレス格納部に格納したメールアドレスと一致するアドレスを有する電子メールが特定電子メールとして扱われることになるアドレス格納部と、

受信した電子メールを、前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールと、前記特定電子メールアドレスと一致しない通常電子メールとに分類して格納する電子メール格納部と、

電子メールを受信した際に、前記アドレス格納部に格納されたメールアドレスに基づき、前記特定電子メールと前記通常電子メールに分類して前記電子メール格納部に格納し、該電子メール格納部に格納されている特定電子メールを表示する際に、前記認証情報格納部に格納されている認証情報と使用者から入力された認証情報が一致すると前記特定電子メールを前記表示部に表示させる制御部とを有することを特徴とする携帯端末。

【請求項 5】

情報を表示する表示部と、

電子メールを受信する通信部と、

使用者の認証情報を格納している認証情報格納部と、

メールアドレスを格納するアドレス格納部であって、該アドレス格納部に格納したメールアドレスと一致するアドレスを有する電子メールが特定電子メールとして扱われることになるアドレス格納部と、

受信した電子メールのアドレスが前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールを格納する特定電子メール格納部と、

受信した電子メールのアドレスが前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致しない通常電子メールを格納する通常電子メール格納部とを備え、

電子メールを受信した際に、前記アドレス格納部に格納されたメールアドレスに基づき

、前記特定電子メールと前記通常電子メールに分類してそれぞれ前記特定電子メール格納部と前記通常電子メール格納部に格納し、該特定電子メール格納部に格納されている特定電子メールを表示する際に、前記認証情報格納部に格納されている認証情報と使用者から入力された認証情報が一致すると前記特定電子メールを前記表示部に表示させるようにしたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 6】

メールアドレスを格納するアドレス格納部であって、該アドレス格納部に格納したメールアドレスと一致するアドレスを有する電子メールが特定電子メールとして扱われることになるアドレス格納部にメールアドレスを格納するステップと、
使用者の認証情報を認証情報格納部に格納するステップと、
電子メールを受信するステップと、
電子メールを受信した際に、前記アドレス格納部に格納されている特定電子メールアドレスと一致する特定電子メールと、前記特定メールアドレスと一致しない通常電子メールを分類して電子メール格納部に格納するステップと、
前記格納されている特定電子メールを表示する指示の入力を受け付けるステップと、
使用者からの認証情報の入力を受け付けるステップと、
該入力された認証情報が前記認証情報格納部に格納されている使用者の認証情報と一致した場合に特定電子メールを表示部に表示するステップと、
を有することを特徴とする携帯端末の電子メール表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

携帯端末10は、表示部100と、入力部110と、アドレス格納部120と、通信部130と、電子メール格納部140と、アドレス判定部150と、特定電子メール格納部160と、認証情報格納部170と、認証情報判定部180と、特定電子メール読み出し部190と、通常電子メール読み出し部200と、認証情報取得部210とを備える。アドレス格納部120は、メールアドレスを格納する。認証情報格納部170は、認証情報判定部180が判定の基準とする、認証情報を格納する。入力部110は、ユーザからの電子メールの検索操作を受け付ける。